

## チャーリー (1992)

CHAPLIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 145分

初公開日 1993/04/24

公開情報 パイオニアLDC提供/東宝東和

## 【解説】

アッテンボロー監督による、喜劇王チャーリー・チャップリンの生涯を描いた作品。映画は、チャップリンが幼少の頃から、名門カルノー一座の看板俳優時代、そしてハリウッドでの映画製作、富と名声を得、やがて映画「チャップリンの独裁者」の製作に纏わる国外追放、終戦後のアメリカへの帰国から白髪のはえるまで、彼の一生を克明に追って行きながら、その中での孤独、悲しみ、苦しみ、さらには母、兄弟、恋人などの彼に関わる人物をも含み、チャップリンの人生の軌跡を描いてゆく。確かにチャップリンの様々な要因は描いているものの、チャーリー・チャップリン本人が余りに偉大すぎるからなのか、その作品が余りに傑作だからなのか、正直いってこの作品の出来は余り芳しくない。唯一光っていたのが、主役のチャップリン役のロバート・ダウニー・Jr。チャップリンの仕草から表情、身のこなしまで、そうとう研究したというのがハッキリと感じられる程、彼のチャップリンぶりは素晴らしかった。偉大なる天才の伝記映画を作るということが、いかに困難であるかが非常に感じられた作品である。

## 【クレジット】

|    |   |   |
|----|---|---|
| 監督 | リチャード・アッテンボロー   | Richard Attenborough  |
| 製作 | リチャード・アッテンボロー<br>マリオ・カサル  | Richard Attenborough<br>Mario Kassar  |
| 原作 | チャールズ・チャップリン<br>デヴィッド・ロビンソン   | Charles Chaplin<br>David Robinson   |
| 原案 | ダイアナ・ホーキンス  |   |
| 脚本 | ウィリアム・ボイド<br>ブライアン・フォーブス<br>ウィリアム・ゴールドマン  | William Boyd<br>Bryan Forbes<br>William Goldman   |
| 撮影 | スヴェン・ニクヴィスト   | Sven Nykvist  |
| 音楽 | ジョン・バリー   | John Barry  |
| 出演 | ロバート・ダウニー・Jr<br>ジェラルディン・チャップリン<br>ダン・エイクロイド<br>モイラ・ケリー<br>アンソニー・ホプキンス<br>ケヴィン・クライン<br>ダイアン・レイ<br>ケヴィン・ダン<br>ミラ・ジョヴォヴィッチ | Robert Downey Jr.<br>Geraldine Chaplin<br>Dan Aykroyd<br>Moirra Kelly<br>Anthony Hopkins<br>Kevin Kline<br>Diane Lane<br>Kevin Dunn<br>Milla Jovovich |

|              |                     |
|--------------|---------------------|
| ペネロープ・アン・ミラー | Penelope Ann Miller |
| ポール・リス       | Paul Rhys           |
| ジョン・ソウ       | John Thaw           |
| マリサ・トメイ      | Marisa Tomei        |
| ナンシー・トラヴィス   | Nancy Travis        |
| ジェームズ・ウッズ    | James Woods         |
| デヴィッド・ドウカヴニー | David Duchovny      |